

高校時代

まず、お二人は浦和東高校出身ですが、出会いは高校ですか。
菊地 そうですね。

お互いの第一印象はどうでしたか。

菊地 俺は、1年の時レイソルの奴が来るっていうことをみんなが噂してたんで(塚本は柏Y出身)、上手いのかなって思ってた。それで、1年の最初の方は練習別に出なくていいんですけど、こいつは先頭切って練習してて。俺は外で見てたんですけど、真面目な奴だなんて思いましたね。

塚本 高校入ったときってみんな強制的に坊主にするじゃないですか。なのにコイツは逆らって襟足だけ残してたんですよ。だからコイツ、ヤンキーだなとか思って(笑)。

菊地 呼び出しされましたけどね、一人で(笑)。

塚本 コイツとはあまり関わりたくないなって思いましたね。

高校の頃は仲良かったんですか。
菊地 そんなに仲良くないです(笑)。
俺と泰史で部室が違ったんですよ。

仲が悪かったわけではないですよ。
菊地 別に仲悪いかじゃありませんけど……。

塚本 一応3年のとき同じクラスだったんですけど、ほとんど喋らなかつたし(笑)。

菊地 コイツは授業中いつつも寝てたからね。しかも座近くなったことないよね。

塚本 ないね。

では、お互いを見て高校時代はどんなプレイヤーでしたか。

菊地 泰史は……

塚本 埼玉のベッカムだよな(笑)。

菊地 そうそう。キックが上手くて、負けず嫌いで、負けたりすると泰史が一番最初に泣いちゃうんですよ。本当負けず嫌い。まあ、頼りになる選手でしたな。

塚本 菊地は今と全然変わらなくて、ヘディング高くて凄かったですよ。

高校の頃が一番印象に残ってる試合を教えてください。

菊地 俺が一番最後負けた試合ですね。優勝候補だったんですけど、完全に油断とか慢心で負けちゃって。それが一番印象に残ってます。その時も一番最初にコイツが泣いたんですけど、俺は最初負けたことが信じられなくて、後からシワシワきて泣いちゃいましたね。

塚本 俺はその最後の試合も印象に残ってるんですけど、プリンスリーグのマリノス戦ですね。結構負けたらマズイ試合で、あまり点決める選手じゃないんですけど、1人で後半俺がシュート決めて勝ったんですよ。その時は凄く嬉しかったです。

浦和東は日本代表とよく練習試合をしていますか。

菊地 俺らが卒業してからですね。でも、1回卒業してから代表の練習に呼ばれた時があって。その時俺と泰史も行って、俺は試合出てないんですけど、泰史は試合出てアシストしてます



からな。

塚本 普通は日本代表とどっかのチームじゃないですか。でも、そのときは紅白戦をやるのに人数が足りないから何人が貸してくれて言われて、それで紅白戦に混じってやったんですよ。三都主は大したことないっていうの(笑)、小笠原はいい人でした。

大学生活

では、お二人とも駒大に進学を決めたわけですが、お互い駒大に進学するというのは知っていたのですか。

塚本 そうですね。

菊地 俺の方が後だったんですけど、俺はもう高校でサッカー終わりにしよ

うかかって思ってた。泰史は駒大に行きたいって言うて、それは知ってた。俺は高2の冬に骨折したんですよ。結構大けがですとサッカーやってなくて、もう無理だなんて。でも、話があったんで駒大に決めました。

駒大に入って印象はどうでしたか。

菊地 他の人たちは駒大の縦に速いサッカーに抵抗があるみたいなんですけど、俺は浦東もどっかかっていうと縦に速いサッカーだったんで、普通に違和感なく入れましたね。

塚本 俺も菊地と一緒にですね。

塚本君は時々サイドハーフで試合に出場されることがありますが、高校の頃のポジションは?

塚本 それは、説明して(笑)。

菊地 コイツは1年の頃FWだったんですよ。

塚本 エースですよ。エースストライカー!

菊地 1年の大会とかあるんですけど、それもFWやってて。

塚本 凄く点取ってたよね!

菊地 そう。でもどんどん下がってきて。

塚本 トップ下やって、サイドハーフやってサイドバックやって。

菊地 俺らの代になってサイドバックもサイドハーフもやるようになって

大臣杯直前インタビュー

塚本泰史×菊地光将

1年の頃から公式戦に出場し、今では駒大に欠かせない存在となっている現在3年生の塚本と菊地。二人は浦和東高校から共にプレーし、全てを知り合った仲良しコンビ。そんな浦東コンビに高校時代、そして大学生活を振り返ってもらった。

インタビュー 伊藤優香

写真 川崎篤彦、前沢皓子